

ルールを守って 美しい環境を次世代へ

ごみの分別にご協力を

本市では、分別できていないごみは収集せず、違反理由を記したごみ分別啓発シールを張って再分別をお願いしています。ごみが残されると、町の生活環境や景観を損なってしまうだけでなく、ごみ当番の人やごみ集積場所の周りに住んでいる皆さんに迷惑が掛かってしまいます。一人一人が「ごみ出しルール4原則」を守って、きれいな町にしましょう。

ごみ出しルール4原則

- ①ごみカレンダーを見て、決められた日の朝、出す。収集後は絶対に出さない
②決められた場所に出す
③正しく分別して出す
④決められた方法で出す。ごみ袋の色を守る



ごみの分別に迷ったときは、各家庭に配布している「ごみ分別はわかり帳」をご覧ください。



「ごみ分別はわかり帳」「ごみカレンダー」は、各支所・本庁区および日浦地区の公民館本館・清掃課(室町一丁目)・環境事業推進課(市役所別館4階)・市民課(市役所本館1階)・市民サービスセンターで配布しています。

松山市のごみ事情

平成22年度に、家庭から出た可燃ごみは前年比12.4%減の9万104ト、事業所から出たごみは同比9.6%減の3万4328トとなり、いずれも年々排出量が減少しています。

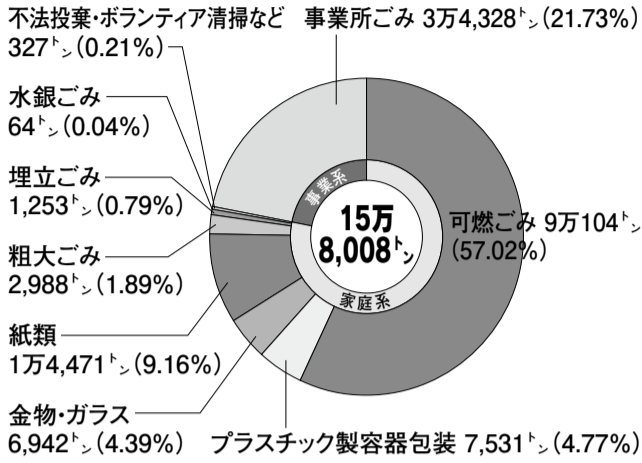
平成21年度の市民1人1日当たりのごみ排出量は85.1kgで、環境省の調査では人口50万人以上の都市の中で、平成18年度から4年連続で最少

また、ごみの収集や焼却、埋め立て、リサイクル処理には多くのお金が掛かります。平成21年度のごみ処理費は59億2000万円、市民1人1年間当たりのごみの処理費は約1万1500円でした。ごみ処理費削減のためにも、ごみの減量と分別徹底に努めましょう。

平成22年度ごみ排出量 15万8,008ト

家庭系可燃ごみ1,242ト減少

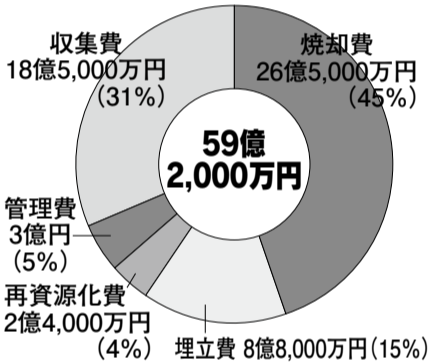
【ごみ排出量内訳】



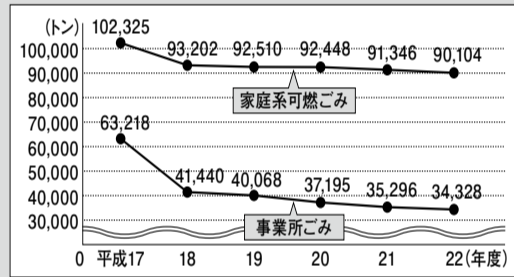
平成21年度ごみ処理費 59億2,000万円

1人当たり1万1,500円

【ごみ処理費内訳】



【ごみ排出量の推移】



お問い合わせは、ごみの分別・収集=清掃課 ☎921-5516・FAX921-6311 ▶ごみの排出量=環境政策課 ☎948-6459・FAX934-1812へ

「誇れる」地域の宝 石井編 ~まちのいいところ~



自然豊かな里山・星岡山

松山の「陸の玄関」

石井地区は、本市では最多の人口5万8401人、世帯数2万4770世帯(8月1日現在)が暮らしています。南環状線をまたいで市街地中心部の北東にある別名五ツが森とも呼ばれる星岡山には、弥生時代の遺跡や古戦場跡、美人の湯などがあります。

地区のシンボル「椿神社」では、毎年3日間にわたって椿まつりが開催され、約50万人の参拝者でにぎわいます。また地区の偉人に「今村久兵衛」がいます。久兵衛は江戸時代に自らを犠牲にして多くの農民の暮らしを守りました。その遺徳を慕い後世に残すために、顕彰碑が建立されたほか、町民有志による「古川きゅうべえ会」が発足し、夏は夕涼み大会、秋は地方祭、年末は夜警などの活動を実施しています。



今村久兵衛顕彰碑

石井地区



8月5日開催・石井公民館・参加者100人

住民の声

支所・公民館の駐車場が狭いので、広くしてほしい

可燃ごみを収集する時間帯を早くしてほしい

可燃ごみと資源ごみのごみ集積場所の設置基準を同じにしてはどうか

災害時の障がいのある人への援護について、抜本的な見直しをお願いしたい ※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します

参加者募集

第12回立岩地区 [日時] 10月18日(火)19時~20時

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎948 6338 3・FAX 934 3157へ



石井地区の魅力話す中学生

時30分 [場所] 立岩公民館(猿川) 2階集会室 [対象] 立岩地区に在住または通勤・通学している人 [定員] 50人程度 [申し込み] 9月30日(金) (必着) までに、直接または郵送、ファクス、eメールで、参加申込書(市民参画まちづくり課(市役所本館9階)・立岩出張所・市ホームページ)に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先(学校名)、市長と話したいことを書いて、〒790 8571 市民参画まちづくり課 zichi@city.matsuyama.ehime.jp または立岩出張所へ